

美 広 監 第 6 号  
令和 6 年 9 月 3 日

美方郡広域事務組合  
管理者 浜 上 勇 人 様

美方郡広域事務組合

監査委員 島 田 信 夫

監査委員 西 谷 尚

令和 5 年度美方郡広域事務組合一般会計歳入歳出決算審査意見の  
提出について

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項の規定により審査に付された令和 5 年度美方郡広域事務組合一般会計歳入歳出決算について審査したので、次のとおり審査意見を提出します。

# 令和5年度美方郡広域事務組合一般会計歳入歳出決算審査意見

## 第1 審査の対象

令和5年度美方郡広域事務組合一般会計歳入歳出決算

## 第2 審査の実施日

令和6年8月20日（火） 1日

## 第3 審査の主眼と方法

管理者から審査に付された令和5年度一般会計歳入歳出決算書及び附属書類について、関係法令・規則に基づいて調整されているか、財政の運営状況は健全か、財産管理は適正か、予算は適正かつ効率的に執行されているかに主眼をおき、関係書類の提出を求め、事項別に説明を聴取しつつ、令和5年度中に実施した出納検査、定期監査の結果も参考にしながら、関係諸帳簿及び証拠書類等との照合による審査を実施した。

また、職員の服務状況等について、出勤簿（タイムカード）、出張命令書等と、関係諸帳簿を突合し、照合を行った。

## 第4 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書は、法令に基づいて調整されており、計数は、関係諸帳簿及び証拠書類等と照合した結果、誤りはなく記載されていることを確認した。

## 第5 事業の概要

厳しい財政状況の下、本組合を構成する両町が懸命に行財政改革に取り組んでいる中、事業費の大半が負担金である本組合も、経常経費の抑制に努め財政の健全化に努めるべく、令和5年度当初予算は、902,432千円（前年度対比12.4%の増）の規模で予算編成されている。

各事業の推進に当たっては、美方郡民の「安心と安全」を基本に捉え、取り組みが行われている。

## 1. 令和5年度火葬事業について

火葬事業の状況については、第1表のとおりである。

第1表 火葬場使用料件数

(単位：件)

町 別	香 美 町			新 温 泉 町			管 外	合 計
	村岡区	小代区	計	浜坂地域	温泉地域	計		
	66	49	115	154	91	245	11	371
	(75)	(56)	(131)	(168)	(93)	(261)	(15)	(407)

(注)：表中の( )内の数字は、令和4年度の火葬場使用料件数である。

令和5年度の火葬場使用料件数は371件で、前年度(407件)に比べ36件の減となっている。

町別では、香美町が115件で前年度(131件)に比べ16件の減、新温泉町は245件で、前年度(261件)に比べ16件の減となっている。

## 2. 令和5年度消防事業について

消防事業の状況については、第2表から第6表のとおりである。

第2表 出動件数

(単位：件)

町別 種別	合 計	香 美 町			新 温 泉 町			管外
		香住区	村岡区	小代区	浜坂地域	温泉地域		
火災出動	10 (14)	4 (8)	4 (3)	(4)	(1)	6 (6)	4 (6)	2 (6)
救急出動	1,976 (1,941)	1,020 (1,071)	577 (581)	316 (359)	127 (131)	956 (870)	584 (505)	372 (365)
救助出動	46 (30)	18 (18)	12 (13)	5 (3)	1 (2)	28 (12)	15 (7)	13 (5)
支援出動	539 (648)	273 (325)	178 (186)	65 (98)	30 (41)	266 (323)	144 (185)	122 (138)
その他の出動	45 (57)	25 (32)	13 (18)	6 (12)	6 (2)	20 (24)	15 (9)	5 (15)
合 計	2,616 (2,690)	1,340 (1,454)	784 (801)	392 (476)	164 (177)	1,276 (1,235)	762 (706)	514 (529)

(注)：表中の( )内の数字は、令和4年度の出動件数である。なお、火災出動は事後聞知を含む。

令和5年度中の災害出動件数は2,616件で、前年度(2,690件)に比べて74件減少している。

出動種別をみると、「救急出動」が1,976件で最も多く全体の75.5%を占め、次いでドクターヘリ支援及び救急現場支援のための「支援出動」が539件で20.6%、「救助出動」が46件で1.8%、「その他の出動」が45件で1.7%、「火災出動」が10件で0.4%となっている。

出動件数を町別にみると、香美町が1,340件で前年度(1,454件)と比べて114件の減少で全体の51.2%を占め、新温泉町が1,276件で前年度(1,235件)と比べて41件の増加で全体の48.8%となっている。

第3表 火災発生状況

(単位：件)

種別	町別 合計	香美町				新温泉町			
		香住区	村岡区	小代区		浜坂地域	温泉地域		
火災発生件数	(件)	10 (14)	4 (8)	4 (3)	(4)	(1)	6 (6)	4	2 (6)
	建物	3 (5)	1 (1)	1 (1)			2 (4)	1	1 (4)
	林野	(1)	(1)		(1)				
	車両	1 (2)	1 (1)	1	(1)		(1)		(1)
	船舶	1	1	1					
	航空機								
	その他	5 (6)	1 (5)	1 (2)	(2)	(1)	4 (1)	3	1 (1)
損害額	(千円)	2,244 (62,019)	1,792 (34,529)	1,792 (34,296)	(233)		452 (27,490)	102	350 (27,490)
	建物	1,192 (59,070)	742 (32,139)	742 (32,139)			450 (26,931)	101	349 (26,931)
	林野								
	車両	1,050 (2,788)	1,050 (2,266)	1,050 (2,151)	(115)		(522)		(522)
	船舶								
	航空機								
	その他	2 (161)	(124)	(6)	(118)		2 (37)	1	1 (37)

(注)：表中の( )内の数字は、令和4年度の火災発生件数である。

令和5年度中の火災発生件数は10件で、前年度(14件)と比べて4件減少している。内訳は、「その他の火災」が5件で全体の50.0%を占め、「建物火災」が3件、「車両火災」が1件、「船舶火災」が1件となっている。

町別にみると、香美町が4件で前年度(8件)に比べて4件減少し、新温泉町が6件で前年度と同数である。

損害額については、全体で2,244千円となっており、建物火災による損害は、1,192千円で全体の53.1%を占めている。

第4表 救急出動件数

(単位：件)

町別 種別	合 計	香 美 町			新 温 泉 町			管外	
		香住区	村岡区	小代区	浜坂地域	温泉地域			
合 計	1,976 (1,941)	1,020 (1,071)	577 (581)	316 (359)	127 (131)	956 (870)	584 (505)	372 (365)	
火 災	4 (5)	2 (1)	2 (1)			2 (4)		2 (4)	
自然災害	3	3	3						
水難事故	9 (8)	6 (8)	6 (8)			3	3		
交通事故	89 (89)	44 (50)	28 (25)	15 (23)	1 (2)	45 (39)	23 (32)	22 (7)	
労働災害	57 (41)	27 (18)	16 (12)	9 (5)	2 (1)	30 (23)	22 (13)	8 (10)	
運動競技	17 (12)	13 (6)	5 (3)	6 (3)	2	4 (6)	2 (4)	2 (2)	
一般負傷	330 (345)	175 (206)	74 (85)	70 (93)	31 (28)	155 (139)	86 (69)	69 (70)	
加 害	1 (1)	1	1			(1)		(1)	
自損行為	8 (8)	1 (3)	(3)		1	7 (5)	5 (4)	2 (1)	
急 病	1,172 (1,186)	610 (620)	378 (370)	151 (157)	81 (93)	562 (566)	332 (335)	230 (231)	
転院搬送	206 (163)	96 (109)	42 (44)	54 (62)	(3)	110 (54)	92 (35)	18 (19)	
そ の 他	80 (83)	42 (50)	22 (30)	11 (16)	9 (4)	38 (33)	19 (13)	19 (20)	
搬送件数	1,691 (1,667)	875 (914)	489 (500)	275 (299)	111 (115)	816 (753)	504 (448)	312 (305)	
搬送人数	1,698 (1,674)	880 (917)	494 (501)	275 (301)	111 (115)	818 (757)	505 (451)	313 (306)	

(注)：表中の( )内の数字は、令和4年度の件数である。

令和5年度中の救急出動件数は1,976件で、前年度(1,941件)と比べて35件増加し、搬送人数は1,698人で、前年度(1,674人)と比べて24人増加している。

種別ごとにみると、「急病」が1,172件で最も多く全体の59.3%を占め、次いで「一般負傷」が330件、「転院搬送」が206件、「交通事故」が89件となり、この4種別で全体の90.9%を占めている。

町別にみると、香美町が1,020件で前年度(1,071件)と比べて51件減少し、新温泉町が956件で前年度(870件)と比べて86件増加している。

第5表 救急出動件数の推移

(単位：件)

年度 町別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
香美町	1,029	993	1,034	1,071	1,020
新温泉町	781	655	730	870	956
管外			2		
合計	1,810	1,648	1,766	1,941	1,976

第6表 救助出動件数

(単位：件)

種別	町別	合計	香美町			新温泉町			管外
			香住区	村岡区	小代区		浜坂地域	温泉地域	
出動件数		46 (30)	18 (18)	12 (13)	5 (3)	1 (2)	28 (12)	15 (7)	13 (5)
火災	建物								
	建物以外								
交通事故		16 (13)	5 (7)	3 (5)	2 (2)		11 (6)	4 (5)	7 (1)
水難事故		7 (3)	5 (3)	5 (3)			2	2	
風水害等自然災害		4	4	3	1				
機械による事故		1 (3)	(3)	(2)	(1)		1		1
建物等による事故		5 (1)					5 (1)	4	1 (1)
ガス及び酸欠事故									
爆発事故									
その他の事故		13 (10)	4 (5)	1 (3)	2	1 (2)	9 (5)	5 (2)	4 (3)

(注)：表中の( )内の数字は、令和4年度の出動件数である。

令和5年度中の救助出動件数は46件で、前年度と比べて16件増加している。種別ごとにみると、「交通事故」が16件と最も多く全体の34.8%を占め、「水難事故」が7件、「風水害等自然災害」が4件、「機械による事故」が1件、「建物等による事故」が5件、「その他の事故」が13件となっている。

町別にみると、香美町が18件で前年度(18件)と同数で、新温泉町が28件で前年度(12件)と比べて16件増加している。

## 第6 決算審査の状況

### 1 一般会計

#### (1) 財政の推移

令和5年度における一般会計決算額は第7表のとおりで、歳入総額920,857千円、歳出総額909,043千円で前年度決算額に比較すると歳入総額が11.2%の増額、歳出総額も11.3%の増額となっている。

第7表 一般会計歳入歳出決算額の推移

(単位：千円、%)

年 度	歳 入 総 額	歳 出 総 額	差 引 残 額
令和5年度	920,857	909,043	11,814
前年度対比(%)	11.2	11.3	
令和4年度	828,063	816,428	11,635
前年度対比(%)	6.6	6.1	
令和3年度	776,947	769,826	7,121
前年度対比(%)	△8.9	△8.1	
令和2年度	852,504	837,640	14,864
前年度対比(%)	3.2	2.2	
令和元年度	826,317	819,639	6,678
前年度対比(%)	5.0	5.1	

当年度決算については、経常経費等の抑制に努める中、歳入歳出差引残額は11,814千円となり、昨年度より179千円の増額となっている。

また、一般会計決算額の伸び率の推移は、第8表のとおりである。令和元年度を100とした指数において、歳入111.4%、歳出110.9%となっている。

第8表 一般会計決算額の伸び率の推移

(単位：%)

年度 区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳 入	103.2	94.0	100.2	111.4
歳 出	102.2	93.9	99.6	110.9

(注) 令和元年度を100とした各年度の伸び率の推移

#### (2) 財政収支の状況

令和5年度の歳入歳出決算状況は、歳入歳出差引額が11,814千円となり、そのうち7,073千円は、将来にわたる消防事業の財政健全化のため、消防事業財政調整基金へ繰り入れている。

第9表 実質単年度収支の実績

(単位：千円)

区 分	令和4年度	令和5年度	備 考
歳 入 (A)	828,063	920,857	
歳 出 (B)	816,428	909,043	
形 式 収 支 (C) (A) - (B)	11,635	11,814	
翌年度に繰越すべき 財源 (D)	2,550	1,664	
実 質 収 支 (E) (C) - (D)	9,085	10,150	
前年度実質収支 (F)	7,121	9,085	
単年度収支 (G) (E) - (F)	1,964	1,065	
積 立 金 (H)	46	5	
基金取崩し額 (I)	2,550	0	
実質単年度収支 (J) (G) + (H) - (I)	△540	1,070	

### (3) 財政の運営状況

- ① 歳入についてみると、予算現額920,299千円に対する収入済額は920,857千円、調定額に対する収入率は100.0%であり、前年度対比92,794千円の増額（11.2%の増）となっている。
- ② 歳出についてみると、予算現額920,299千円に対する支出済額は909,043千円で、執行率は98.8%となっている。また、翌年度繰越額は1,664千円、不用額は9,592千円となっている。不用額の主なものは物件費等で、それを鑑みると経常経費の節減に努め、適正な財政運営が遂行されたものと認められる。

第10表 款別歳入の状況

(単位：千円)

款	予算現額	収入済額	予算現額と収入済額の比較	収入率 %	構成比率 %
1. 分担金及び負担金	874,719	874,719	0	100.0	95.0
2. 使用料及び手数料	14,701	15,356	655	104.5	1.7
3. 財産収入	1,408	1,381	△27	98.1	0.1
4. 寄附金	1	0	△1	0.0	0.0
6. 繰越金	6,926	6,927	1	100.0	0.8
7. 諸収入	7,205	7,135	△70	99.0	0.8
8. 組合債	14,900	14,900	0	100.0	1.6
9. 県支出金	439	439	0	100.0	0.0
合計	920,299	920,857	558	100.1	100.0

第11表 款別歳出の状況

(単位：千円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率 %	構成比率 %
1. 議会費	451	440	0	11	97.6	0.0
2. 総務費	39,799	38,884	0	915	97.7	4.3
3. 事業費	49,963	49,076	0	887	98.2	5.4
4. 消防費	828,734	819,633	1,664	7,437	98.9	90.2
5. 公債費	1,025	1,010	0	15	98.5	0.1
6. 予備費	327	0	0	327	0	0.0
合計	920,299	909,043	1,664	9,592	98.8	100.0

## (4) 個別事項

## ① 歳入

## (ア) 分担金及び負担金

予算現額874,719千円に対し、収入済額は874,719千円（前年度対比9.9%の増）である。

## (イ) 使用料及び手数料

予算現額14,701千円に対し、収入済額は15,356千円（前年度対比8.6%の減）で予算に対する収入率は104.5%、調定額に対する収納率は100.0%である。

火葬場使用料件数は371件、火葬場使用料収納済額は14,906千円で完納されている。

(ウ) 財産収入

予算現額1,408千円に対し、消防事業財政調整基金の利子の収入済額は5千円、財産売払収入の収入済額は1,376千円で、予算に対する収入率は98.1%である。

(エ) 繰越金

予算現額6,926千円に対し、収入済額は6,927千円（前年度対比222.3%の増）である。

(オ) 諸収入

予算現額7,205千円に対し、収入済額は7,135千円（前年度対比20.9%の増）で、予算に対する収入率は99.0%、調定額に対する収納率は100.0%である。

(カ) 組合債

消防施設整備事業債（緊急防災減災事業債）として、消防庁舎改修事業に13,000千円、無線基地局強雷対策事業に1,900千円で、決算額は14,900千円である。

(キ) 県支出金

新型コロナウイルス患者等を医療機関に搬送する消防機関の設備整備事業に係る補助金として、決算額は439千円である。

② 歳 出

(ア) 議会費

予算現額451千円に対し、支出済額は440千円（前年度対比2.3%の増）で、執行率は97.6%である。

(イ) 総務費

予算現額39,799千円に対し、支出済額は38,884千円（前年度対比19.7%の減）で、執行率は97.7%である。

主な支出は、人件費及び広域事務組合共通管理経費である。

(ウ) 事業費

予算現額49,963千円に対し、支出済額は49,076千円（前年度対比61.4%の増）で、執行率は98.2%である。

主な支出は、人件費並びに、施設及び火葬炉などの改修に係る投資的経費である。

(エ) 消防費

予算現額828,734千円に対し、支出済額は819,633千円（前年度対比11.3%の増）で、執行率は98.9%である。

主な支出は、人件費及び消防本部管理上の物件費等経常的経費並びに、救助工作車及び消防庁舎などを整備した投資的経費である。

(オ) 公債費

予算現額1,025千円に対し、起債に係る元金及び利子の支出済額は1,010千円で、執行率は98.5%である。なお、地方債の令和5年度末現在高は15,900千円である。

第12表 性質別経費の状況

(単位：千円、%)

款	区分	令和5年度	構成比率	備考
1. 議会費	人件費	315	71.6	
	物件費	125	28.4	
2. 総務費	人件費	27,363	70.4	
	物件費	11,412	29.3	
	維持補修費	5	0.0	
	補助費等	104	0.3	
3. 事業費	人件費	22,887	46.6	
	物件費	4,748	9.7	
	維持補修費	314	0.6	
	扶助費	285	0.6	児童手当
	補助費等	248	0.5	
	投資的経費	20,594	42.0	
4. 消防費	人件費	595,063	72.6	
	物件費	65,441	8.0	
	維持補修費	2,713	0.3	
	扶助費	4,815	0.6	児童手当
	補助費等	7,191	0.9	
	投資的経費	144,405	17.6	
	積立金	5	0.0	消防事業財政調整基金利子
5. 公債費	公債費	1,010	100.0	起債償還金・一時借入金利子

## 第7 審査意見

本組合を構成する両町では、人口減少などの影響により、地方交付税など地方財政において大きな役割を果たしている収入が減少する可能性があり、現状は非常に厳しい状況である。

今後も健全な財政運営を継続させるための取組みを強く求めるものである。

一方で、本組合は事業費の大半を両町の負担金で賄っており、これらの財政状況を十分考慮しながら、組織として効率的かつ効果的な方法を模索しながら業務を遂行する必要がある。

こうした状況の中、令和5年度一般会計において各事業の予算がほぼ計画通りに執行されていることが確認された。

まず、火葬事業においては、「広域美方苑個別施設計画」に基づき、施設の屋上防水シートの張替え、外壁補修及び塗装を行った。また火葬炉設備についても耐火物修繕等を行うなど、施設の長寿命化のために計画的な修繕や適正な維持管理等が行われている。

一方で、美方郡内斎場検討会議は、改修後の施設の確認や、郡内の斎場の現状等について情報共有を行ったほか、今後の斎場あり方について引き続き協議が行われている。

今後も、利用者の安全性及び利便性に配慮し、施設の管理運営に努められたい。

次に、消防事業では、第5次（変更）第6次消防体制整備計画に基づき、令和5年3月に廃車となった化学車の更新車両として、当消防本部初となる救助工作車を整備し、軽量4段クレーンや大型照明をはじめ、最新の救助資機材を導入し、救助活動の高度化、効率化及び安全性を図っている。さらに、消防救急デジタル無線全基地局の強雷対策が完了し、無線設備の安定運用を確保している。

また、女性消防吏員の採用に伴い、本部庁舎1階の休憩室を女性専用施設として改修し、プライバシーに配慮した勤務環境を確保している。

管内では、令和5年8月に発生した台風7号による被害により、香美町が災害救助法の適用を受けたところであり、全国においても、能登半島地震をはじめ、台風や大雨などの自然災害が頻発し、甚大な被害をもたらしている。

地域防災活動の重要性は、住民同士のつながりに基づいている。引き続き、講習会、訓練指導などを通じて地域の活動を支援し、災害に対する被害を最小限に抑えるための努力を望むものである。